

SDGs目標15「陸の豊かさも守ろう」実現に向けた 栃木県内の生物多様性調査と環境教育活動 令和5年度中間報告

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



葛西峻, 齋藤祐希, 山崎晃太郎, 飯郷雅之
宇都宮大学農学部応用生命化学科生物有機化学研究室

本年度の活動

- a. 住民参加型生物多様性調査と環境教育活動
- b. 分子レベルの生物多様性調査
- c. 絶滅危惧種（サンショウウオ）調査研究プロジェクト
- d. オンライン活動
- e. 報告会

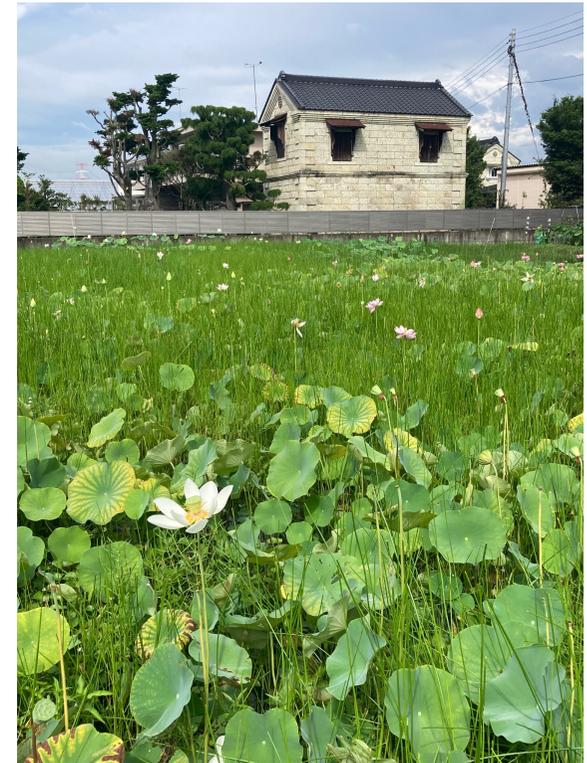
a. 住民参加型生物多様性調査と 環境教育活動

- トウキョウサンショウウオ調査：4/7現地調査
- 法務省喜連川社会復帰促進センター調査：4/25, 5/28, 7/30
- ゲンジボタル調査：栃木市5/20, 22, 27, 30, 31, 6/4, 5, 10
- ゲンジボタル調査：那須烏山市 6/14, 16, 22
- ヒメボタル調査：奥只見7/2, 9, 13, 16
- 宇都宮市上田地区（上田環境サポート）：7/28
- 北海道セミ, クワガタ調査：8/2, 9/2

上田地区生物多様性調査7/28

- 約10年間にわたって連携
- 新型コロナウイルス感染症のため、2020、2021年は中止
- 指導者として学生が教員とともに参加
- 今年度は水路まわりの生き物調査を集中的に行った。

石蔵と
水路が調和



喜連川社会復帰促進センター調査

- 福島大学, NPO法人アースウォッチジャパンなどと合同で, 喜連川社会復帰促進センターにおける活動を実践した
- 収容者向け教育プログラム「ハナヤスリプロジェクト」を実施(安全管理の都合上教員のみが参加(4/25, 5/28, 7/30))
- 宇都宮市で開催された日本植物学会第88回大会において研究成果「ハナヤスリ・プロジェクト植物多様性を活かした喜連川社会復帰促進センタープログラム」を発表(9/15)

c. 絶滅危惧種（サンショウウオ） 調査研究プロジェクト

- 栃木県立佐野高等学校科学部，栃木カエル探検隊，山脇有尾類研究所と合同で栃木県南部トウキョウサンショウウオ調査を実施（4/9）
- 山形県立米沢興譲館高校において，米沢市近郊に生息するトウホクサンショウウオ近縁種のDNA抽出を行い，ミトコンドリアDNA *Cytb*遺伝子のPCR増幅を行い，塩基配列を決定し，分子系統解析を実施（7/6-7）

トウキョウサンショウウオ 調査研究プロジェクト

絶滅危惧種であるトウキョウサンショウウオの
保全活動に取り組む佐野高校科学部，栃木カ
エル探検隊の小中学生とともに生息状況を調
査した。



今後の予定

- 次世代を担うこどもたちとともに，生物多様性調査と環境教育活動を実施（主に栃木市）
- オンラインによる環境教育活動を行う．第5回高校生両生類サミット（11/4）に参加予定
- トウキョウサンショウウオ，ハコネサンショウウオのミトコンドリアDNA塩基配列の分子系統解析を通じて，大学の研究室で学んでいる専門知識や研究技術を，生物多様性保全に取り組む高校生に提供し，環境教育と研究高度化に貢献する（佐野高校，米沢興譲館高校，山脇学園）
- 2025年1～2月に報告会を実施する（現地報告会，宇都宮大学）

謝辞

- 環境文化都市やいた創造会議
- 日本両棲類研究所上田環境サポートNPO
法人自然史データバンクアニマnet
- 法務省喜連川社会復帰促進センター
- 認定特定非営利活動法人 アースウォッチ・
ジャパン福島大学東北農林専門職大学
- 栃木県立佐野高等学校科学部
- 山形県立米沢興讓館高等学校
- 山脇学園高等学校
- 栃木県大学・地域連携プロジェクト支援事業